

ECOだより

2015
July

約4万部発行 射水市全地帯と富山・高岡市の一部地域に配布 道の駅・新湊に設置

No.92



世界農業遺産に認定されている輪島白米の千枚田(©石川県観光連盟)

○食べ物を大切に暮らそう

食べ物のことを「食品」「食物」「食糧」などと呼んだりするが、そのなかで食糧という言い方だけは少しニュアンスがちがう。辞書で「糧」を調べると「精神・生活の活力の源泉。豊かにし、また力づけるもの」とされ、食べ物でも主食を指す意味合いが強い。近年は食の多様化で、主食・副食の概念があいまいになっているが、わが国の主食は依然として米である。その米づくりは、雨の多い日本の気候風土に大変適している。畑作のような連作障害を起こさないことから、狭い国土で多くの国民を養っていく食糧を、毎年安定して生産できる。何年も長期保存ができる米は、

新しい「ひと・しぜん・もの」語り

食糧と食品

飢餓や飢饉といった非常事態に備えての備蓄も容易だ。最近では米によるアレルギーが指摘されているが、それでもほかの食物に比べると、毎日食べ続けても安全性は高い。主食として国内で自給できる食べ物は、おそらく米以外に考えられない。もっと米に執着すべきだ。その米の1人当たりの消費量は、1962年に118kgだったものが、2012年には56kgまで減っている。これにはさまざまな見方があるが、「ご飯に漬け物」に代表される伝統的な米の食べ方や、コシヒカリ系の品種一辺倒から、もっと時代のニーズに合ったものに変えていくべきではないか。いずれにしても、食べ物は米に限らず、大切にしたい。



▲寄付されたお菓子の賞味期限を確認。このあと梱包して福祉施設や団体へ。



◀笑顔と一緒に野菜を施設へ。生鮮品なので、なるべく早く届けることが大切。「フードバンクとやま」のボランティアスタッフは現在約50名。



▲寄付されたお米。さっそく母子寡婦福祉連合会を通じて母子家庭へ。



◀施設へ届けられた野菜。「おいしく食べさせていただきます」と喜んでいただくと、野菜も支援者も非常にうれしい。

◀一度にたくさんの寄付を受けたお茶。これだけ多いと分配も大忙し。

捨てるにせよ、食べるに、

○食べ物支援というと、難民やホームレス、炊き出しを思い浮かべます。関東や関西といった都市圏とは状況が異なりますが、富山県内にも仕事や住居のない困窮者、一人暮らしの高齢者、障がい者といったように、さまざまな理由で食べ物を必要としている方がいます。県内で炊き出しをしているボランティアグループも4団体ほどあります。

○食品はどこから支援を受けていますか。
食品関連企業や生産農家、それに一般の個人からも寄付があります。

○具体的にどのような食品ですか。
まだ安全で食べられるのに、いろいろな事情から破棄をされる食べ物です。包装が傷んで流通にのせられない食品とか、あるいは規格外で出荷できない農産品といった食品ですね。富山県ではお菓子、飲料品、お米などの提供が多いです。野菜は保存の関係から根菜類が中心になります。なお、お弁当やサンドイッチなどや賞味期限の切れた食品は扱っていません。

○寄付する際の留意点は。
「賞味期限は1ヵ月以上」あって「未開封の製品」です。それと私どもに冷蔵庫などの設備がないので

「常温保存が可能」であること。「これはまだ食べられるのに」といった食品がある場合、とにかく処分をする前に私どもに連絡してください。

粗大ゴミ・不燃物は 当社クリーンセンターへ

…… 土曜日も午前8時～午後4時まで受け入れています ……

バッテリー、スプレー缶、消火器等、
爆発の恐れがあるものを混載される場合は事前に内容物をお申し出願います。

電話 アスクリーンズ
クリーンセンター
☎0766-83-0365 本社 ☎0120-84-6648

○食品の引き取りなどどのように。寄付の申し出を受けると、私どもスタッフが取りに伺ったり、回収場所に持ってきていただいています。元払いで送っていただく場合は、必ず事前にご連絡をお願い致します。

あなたの身近をきれいに!

しん こう せい そう
新 高 清 掃 株 式 有 限 公 司



射水市本開発550番地 TEL (0766) 55-1373 FAX (0766) 55-2315
<http://www/shinko-seiso.jp/>



◀「フードバンク
とやま」のロゴ
マーク。



▲朝、電話で「明日トラクターでつぶしてしま
うネギ畑がある」とのこと。スタッフ3名で
急きょ150本のネギを収穫。福島から千葉へ
避難している方々を支援する団体へ届ける。

お茶を届けた施設利用者の方からのお礼の手紙。
フードバンク活動の励みにもなっている。



▲富山市の農家からサツマイモ
200キロの寄付を受ける。
これを福島県会津若松市で避
難生活をおくる小学校へ。

環境や福祉、それに食育
などに興味がある人々が
参加して「フードバンク
活動フォーラム」。



もう一度命を。

○寄付された食品は福祉施設へ届け
るのですか。

生活困窮者支援団体、母子・父子
支援団体、デイサービス、福祉作業
所、東日本大震災の被災者支援など、
100カ所以上の施設へ無償で分配
しています。また、県内で炊き出し
を行なっているボランティアグルー
プ「あつたか相談村」にも届けたり
していますね。

○活動で特に苦心されている点は。

食品を単に右から左へ流すのでは
なく、せっかくだいだいた食品です
から、それを本当に必要なところ
へ届けたいと考えています。それ
が支援者に応えることであり、また
食べ物を生かすことにもなります。
そこで、寄付される食品の内容や数
量などの情報を、なるべく早めに教
えていただくとうかります。時間
があると分配先をあらかじめ検討する
余裕ができ、一連の流れがスムーズ
になります。

○活動資金はどうされていますか。

「フードバンクとやま」は、支援
者から無償で提供された食品を、必
要としているところへ無償で分配し
ています。その際、クルマで食品を
運んだり通信費など、当然、活動資
金が発生してきます。私たちが募金
活動やイベントを行なって資金集め

をしています。一般からの寄付金
も募っています。

○フードバンクへの寄付は、支援者
にもメリットがありますね。

物を廃棄するためにはコストがか
かりますが、それは食品も例外では
ありません。フードバンクを活用す
ることで、不要な食品を廃棄するた
めの経費の節減と、環境負荷を減ら
すことができます。また、企業の社
会貢献活動の一環として、ブラン
ド・ロイヤリティを高めることにも
なります。そして社会全体として、
食品ロスの削減や、セーフティネ
ットのひとつにもなります。

※「フードバンクとやま」の川口明美理事
長に話をお聞きしました。

「特定非営利活動法人 フードバ
ンクとやま」

毎日大量の食品が消費されない
まま捨てられている日本。「こんな
世の中おかしい!」「《もったいな
い》を、なんかせんなん!」という
思いから、2009年1月にボラ
ンティアグループとして活動を開
始。企業や個人などから食品を無
償で譲り受け、福祉施設や福祉団
体に無償で届けている。問合せ先
／富山県射水市広上1159番地。
電話090-1139315619。

教育・保育・事務用品・公園遊具
地域のブランコは安全ですか
—公園遊具の新設・点検・修理・保守—
有限会社
TOMO社
☎ 0120-84-3366
FAX 0120-84-3399

JA新湊給食センター ● 新湊ゴルフ
ながてし ● コンビニ ● ガーデン
塚原小学校 ● コンビニ ● 至大門
至新湊市街 ● 当社 ● 至大門
至庄川

地域No.1カーステーション 三菱自動車サテライトショップ

LOTAS CLUB ロータス新湊
Shinminato
本社／射水市松木812-1 TEL.0766(82)2859